

第144回教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成27年7月24日（金）14：15～15：52

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 若手教員による長崎大学将来構想WG（仮称）の設置について

学長から、資料1に基づき、若手教員による長崎大学将来構想WG（仮称）の設置について、学長・副学長会議において検討を行い、テーマ等を決定した旨の説明があった。

次いで、副学長（海洋研究担当）及び理事（総務担当）から、それぞれのテーマの趣旨及び委員構成等について説明があり、審議の結果、当該2つのテーマについてWGを設置することが了承された。

なお、審議の過程において、大要次のような意見等があった。

- WGでの議論の過程で、若手教員が大学への理解を深めるとともに、成長していくことを期待したい。
- 2つのWGは、委員が重複しないように、両WGで委員の選出に当たり調整する。
- 委員の構成については、専門分野や年齢などいろいろなバランスに配慮する。

(2) 長崎大学障がい学生支援室規則の一部改正及び長崎大学障がい学生支援連絡会議規程の制定について

理事（教学担当）から、資料2に基づき、平成28年4月施行の「障害者差別解消法」を念頭に置き、障がい学生支援室が各学部等と緊密な連携体制を構築し、障がい学生へのより行き届いた支援を可能とするため、障がい学生支援連絡会議を設置すること、及び当該会議の設置に伴い、長崎大学障がい学生支援室規則の所要の改正及び長崎大学障がい学生支援連絡会議規程の制定を行うものである旨の説明があり、審議の結果、当該規則の一部改正及び当該規程の制定が了承された。

(3) 長崎大学における人を対象とする医学系研究に関する規則の制定について

理事（研究担当）から、資料3に基づき、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に対応するため、長崎大学における人を対象とする医学系研究に関する規則を制定する旨の説明があり、審議の結果、同規則の部局の定義を一部見直すことも含め了承された。

なお、大学のグローバル化を念頭に置いた国際的プロジェクトへの対応や文教地区に倫理委員会がないことから、侵襲を伴わない人を対象とした社会学的研究への対応など、全学を対象とした倫理委員会の設置の必要性について、意見交換があった。

4 報告事項

(1) 第3期中期目標・中期計画（素案）の修正について

理事（総務担当）から、資料4に基づき、6月末に文部科学省へ提出した第3期中期目標・中期計画（素案）のうち、地域人材の育成に関する計画を修正したことについて、報告があった。

(2) 「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について

理事（総務担当）から、資料5に基づき、第3期中期目標・中期計画（素案）中、「戦略性が高く意欲的な目標・計画」とする目標・計画を計画・評価本部会議で審議の上決定し、文部科学省へ提出したことについて、報告があった。

(3) 「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて」の内容を踏まえた検討状況及び中期目標・中期計画等への反映状況確認資料について

理事（総務担当）から、資料6に基づき、文部科学大臣通知「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて」の内容を踏まえた検討状況、及び中期目標・中期計画等への反映状況確認資料について、計画・評価本部会議で審議の上決定し、文部科学省へ提出したことについて、報告があった。

(4) 平成26年度年度計画（教育研究等）の実施状況について

理事（総務担当）から、資料7-1及び資料7-2に基づき、平成26年度年度計画のうち、教育研究等に係る年度計画の実施状況及び進捗状況について、報告があった。

(5) 平成28年度概算要求について

理事（財務担当）から、資料8-1から資料8-4に基づき、文部科学省へ提出した平成28年度概算要求の重点事項等について、報告があった。

(6) 平成27年度学部・研究科等教育研究推進経費について

理事（財務担当）から、資料9に基づき、平成27年度学部・研究科等教育研究推進経費の学内ヒアリングの結果及び部局配分額について、報告があった。

(7) 新NU-W e b学務情報システムについて

副学長（情報担当）から、資料10に基づき、新NU-W e b学務情報システムの進捗状況、教員向け説明会の開催及び学生への周知方法について、報告があった。

(8) その他

部長の退職について

事務局長から、7月31日付けで退職する山本施設部長の紹介があり、本人から挨拶があった。

以上